

～未来を創る技術者たち～

奈良工業高等専門学校

奈良工業高等専門学校 校長
江崎 修一 氏

生成AIをはじめとする技術革新によって、社会や産業は大きな転換期を迎えています。私は情報工学分野で長く教育・研究に携わってきましたが、近年のAIの進化は、技術者の仕事の進め方そのものを大きく変えました。一方で、AIが示した結果が本当に正しいのか、安全なのか、社会にとって望ましいのかを判断するためには、確かな専門知識と倫理観が欠かせません。AI時代だからこそ、専門性を持つ人材の価値はますます高まると考えています。

また、社会に情報があふれ、多様な個性や価値観が顕在化の中で、一

校長メッセージ

企業とともにAI時代の

人材育成を再設計する

律の教育ではなく、一人ひとりに応じた個別最適化された学びが求められています。奈良高専では2027年度から新たな3学科体制へ移行し、「専門分野にもAIにも強い奈良高専」として教育の再設計に取り組んでいます。私たちが目指しているのは、単にAIを教育に取り入れることではありません。AI時代にふさわしい教育のあり方そのものを見直し、再構築することです。単にAIを使える人材ではなく、専門性を土台にAIを活用しながら、自ら考え、新たな価値を創造できる技術者を育成したいと考えています。

これからの教育は、学校だけで完結できるものではありません。企業や地域社会と連携し、実社会の課題や産業界のニーズを教育へ取り込みながら、次代を担う人材を育てていく必要があります。社会とともに教育を進化させ、常に時代を先取りした人材を輩出し続けることが、高専に課せられた使命だと考えています。

高専卒業生を高く評価してくださっている企業の皆様には、ぜひ共同研究や人材育成を通じて高専とつながっていただきたいと思っています。その中で学生の力や可能性に触れていただき、将来的な採用へとつながる関係を築いていただければ幸いです。これからの時代は、一人ひとりが高い専門性を持ち、AIを活用しながら少数人数でも大きな価値を生み出すことが求められます。奈良高専は、そのような人材の育成を産業界とともに進めていきます。

そして、本紙をご覧の皆様にも一つお願いがあります。技術の未来を担う子どもたちにとって、高専は最短距離の一つです。高専卒業生の力をよく知る企業の皆様からこそ、高専の価値がわかるはずです。ぜひ、高専に関心を持って、身近な中学生に、高専という進路をぜひ勧めたいと思います。企業や地域社会の皆様とともに、奈良から日本の未来を支える技術者を育てていきたいと考えています。

「システムデザイン工学科」は、物質創成化学科と共に、専門技術・知識に最新の情報技術を掛け合わせた「高度情報活用人材」の育成を目指す。ロボットや自動運転、スマート工場などの先進技術分野では、機械・電気電子・制御・情報などの分野を横断し、システム全体を設計できる技術者

システムデザイン工学科（定員120人）



情報科学科



生成AIの登場により、社会や産業の姿は大きく変わり始めている。プログラム開発や設計、データ分析など、これまで技術者が担ってきた仕事をAIが支援し、技術開発のスピードや生産性を高める時代が到来している。しかし、AIは常に正しい答えを示すわけではなく、その結果に責任を負うこともない。AIが示した結果を評価



学生による高専特化型受付AIの開発

し、安全性や倫理性、実現可能性を見極め、実社会の課題に適用するには、確かな専門知識と判断力が不可欠である。AI時代だからこそ、専門性の重要性はむしろ高まっている。

「情報科学科」では、コンピュータサイエンス、データサイエンス、AI基礎技術、セキュリティなどを学び、AIが示した結果を理解し、創り

出す人材を育成する。システムデザイン工学科」では、ロボット、自動運転、制御、スマートファクトリーなどを対象に、AIを現実世界で機能させる技術者を育てる。「物質創成化学科」では、化学、バイオ、環境、エネルギーなどの専門分野とAIを融合し、データを活用した新材料や新技術の創出を目指す。さらに、学生は授業だけでなく、研究活動にも主体的に参加する。AI×ロボット、AI×材料、AI×環境、AI×地域課題など、専門分野の枠を越えたテーマに挑戦し、企業や地域の連携を通じて実社会の課題に向き合っていく。こうした教育と研究の融合を通じて、学生の専門知識を実践につなげ、未来を切り拓く力を養う。

奈良高専が目指すのは、「AIを学ぶ学校」ではない。専門性を核としてAIを自在に活用し、また答えのない課題に挑み、新しい価値を生み出す技術者を育てる学校である。専門性とAIを掛け合わせることで、これからの社会や産業を支える技術者教育の新たな形を創り出していく。

情報科学科

（定員40人）

「情報科学科」は、従来の情報工学科を前身とし、新たに「科学」の要素を加え、AIを含む情報技術を「使う」だけでなく、社会で「動かす」「将来へ「発展」させる「高度情報専門人材」の育成を目指す。プログラミングなどの科目を早期化するとともに、4年次から「コンピュータサイエンスコース（量子コンピュータ・サイエンス）」と「データサイエンスコース（データサイエンス・AI系）」に分かれ、専門性を高める。また、「情報技術は「人」のためにある」との考えから、経営・マネジメント・問題解決型科目を充実させ、

せ、社会のニーズや課題を捉え、情報技術で解決する力やアイデアを伝える力を養う。さらに、奈良高専全体の情報共通科目も担い、「専門」にもAIにも強い高専の実現を目指す。金学生在AIの仕組みと特性を理解し、各専門分野に活用できる力を身につけるため、「情報リテラシー」「高度情報基礎」「高度情報応用」を実施する。これらをもとに、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」における「応用基礎レベル」の認定取得を目指す。

2027年度改組

―古都奈良千年の叡知とAIの出会い―

2024年度に「還暦」を迎えた奈良高専は、1年次からの専門教育を通じて、多くの技術者・研究者を社会に輩出してきた。一方、急速な技術革新に対応し、産業界のさらなる発展に寄与するため、新たな挑戦が求められている。そこで27年度より「情報科学科」シ

ステムデザイン工学科「物質創成化学科」の新体制をスタート。奈良高専100周年へ向け、新たな一歩を踏み出す。約1000年の歴史を持つ「古都奈良で」「新たな挑戦に臨む」こと、教職員・学生ともに大きな期待を寄せている。

ここから世界へ ここから未来へ

Takatori

当社は創業70年を迎える歴史ある企業です。

これからのカーボンニュートラル社会、

ICT(Information and Communication Technology) 社会を豊かにするため、

歴史ある大きな「株式会社タカトリ」というキャンバスで

皆さんの夢を描き、実現させ明るい未来を創造しましょう！

奈良県より世界へ、新しいその先へ飛び立つための

「モノづくり」を一緒にしていきましょう。

株式会社タカトリ

本社/〒634-8580 奈良県橿原市新堂町 313-1 TEL.0744-24-8580 FAX.0744-24-6616

URL <https://www.takatori-g.co.jp> E-mail info@takatori-g.co.jp高専OB
絶賛活躍中！君のロジックが、未来を変える。
Innovate with us.

【食・医療・日用品】

暮らしを支える 加工機メーカー

品川工業所

SHINAGAWA MACHINERY WORKS CO.,LTD.

本社・工場 〒636-0311 奈良県磯城郡田原本町八尾508

TEL.0744-32-4055 FAX.0744-33-3480

わたしたちは安全と安心を提供しています。

私たちは 1972 年に創業以来
「プレス加工に確かな信頼性をプラスする」という理念のもと
主にプレス機を扱う加工現場へ更なる安心・安全な環境を提供するべく
様々な装置を研究、製造、販売してきました。

時代の流れと共に変化する機械、ものづくりに対する変わらぬ思い。
ものづくりの現場を支える存在としてお客様の声を大切にし
そしてつぎへ続けていきます。



プレス荷重監視装置



カス上がり検出装置(新型)



カス上がり検出装置

NEW SELBER VL
RM-7402 2ch
RM-7404 4ch

NEW SELBER vx
RM-7312 2ch **RM-7316** 6ch
RM-7314 4ch **RM-7318** 8ch

NEW SELBER CB/CX
RM-2510 (ベースユニット)
RM-2512 RM-2514 (検出ユニット)

プレス加工に確かな信頼性をプラスします。



株式会社理研計器奈良製作所
RIKEN KEIKI NARA MFG.Co.,Ltd.

〒633-0054 奈良県桜井市阿部49-1
TEL:0744-43-0051 FAX:0744-43-0056
<https://www.rikenkeikinara.co.jp>



企業・先輩から期待の声



私は日下部機械が自社で開発した造船業界向け

の自動溶接ロボットシステム「XSOAP」の据え

それが生じることがあり、そんな時は顧客の熟練作業者に手浴接のコツを聞き、ブロックラムに落とし込む作業を重ねました。「うまく動かない原因を切り分けて考える」「北九州高専時代、2度の全国大会出場を果たした口ポコンでの経験です。専攻は化学でしたが、ロボコンではメカを担当しました。

高専生の皆さんには授

業で学ぶ知識だけでなく、興味を持ったことに積極的に挑戦してほしいと思います。うまくいかなくなった時にはなぜそうなったのかを考えた原因を一つずつ切り分けていく力を身につけてほしいです。ロボコンのように仲間といっしょにモノづくりに取り組む経験は社会に出てからも生きてくるはずですよ。



パテは肉盛り用の塗料で、防水塗料や工業用補

修材、シーリング材など用途は多岐にわたってい

乗ってくれ、校長先生まで来社いただきました。

業の良さを見直してほしいと思います。入社後の



1991年に奈良工業
高等専門学校機械工学科

を卒業後、当社の親会社であるゼネコンの奥村組

の掘削に用いるシールド
マシンの専門メーカーで

な課題解決に取り組む当社では、設計・製造・品

奥村機械製作

代表取締役社長
村中 浩昭さん

《情報科学科》では、AIを支える高度情報基盤の開発を学ぶ「コンピュータサイエンスコース」と、最先端のAIに関する研究開発やビジネスへのAI活用を学ぶ「データサイエンスコース」を設置し、AI社会を支える高度情報専門人材を養成します。

「システムデザイン工学科」では、「機械情報コース」、「ロボティクス情報コース」、「電気電子情報コース」を設置し、機械・ロボット・電気電子と情報技術をつなぎ付け、分野横断的にAIや情報技術を活用できる高度情報活用人材を養成します。

〈物質創成化学科〉では、AIやデータ解析を活用したデータ駆動型の材料開発を学び、マテリアルイノベーションに貢献できる高度情報活用人材を養成します。

情報科学科	40人
コンピュータサイエンスコース	
データサイエンスコース	
システムデザイン工学科	120人
機械情報コース	
ロボティクス情報コース	
電気電子情報コース	
物質創成化学科	40人

【学校概要】
 ▷所在地＝奈良県大和郡山市矢田町22番地
<https://www.nara-k.ac.jp/>

**目立たないことが、
設備会社の誇りです。**

人間は、不快に敏感で、心地よさには鈍感な生き物です。

暑くもなく寒くもない室温。色も臭いもない水。停電や電波障害のない日常。

心地よい状態はあたりまえで、それを支える設備の存在を意識する機会はそうありません。

逆にいえば、注目されない設備工事会社ほど、トラブルが少ない優良企業だとも言えます。

だからダイダンは、なるべく思い誇りたないことを目指します。

目立たないことが、何よりの誇りだから。

目立たないことが、何よりの誇りだから。

ダイダン

世界の工場が 欲しが る名脇役。

Ultra-thin films
will redefine
the world technology.

確かな技術と 信頼を未来へ。

シールドマシン・産業機械・各種クレーンの
設計から製造まで一貫したもののづくりで、社会
インフラの整備と産業の発展に貢献します。



シールドマシン

トンネル掘削を支える
高い技術力



産業機械

多様なニーズに応える
高度な設計・製造力



各種クレーン

安全確実な荷役を実現する
信頼のクレーン技術

奈良工業高等専門学校卒業生活躍中！
機械・電気技術者が多数在籍しています。

代表取締役社長 村中 浩昭（1991年 機械工学科卒）

奥村機械製作株式会社
OKUMURA MACHINERY CORPORATION

本社・工場
〒555-0033 大阪市淀川区姫島 3-5-6 TEL.06-6472-3461
<https://www.okumura-kikai.com>



企業・先輩から期待の声



品川工業所
当社は食品加工機械の
メーカーで、私は202

3年3月に奈良工業高等
専門学校の電子制御工学
科を卒業し、当

社に入社しまし
た。学生時代は
ロボコンに熱中
していたことも
あり、機械メー
カーへの就職を
希望していまし
た。入社以来、
一貫して設計課
で仕事をしてい
ます。部内には

品川工業所

技術部 設計課 原 幸平 さん



三和パッキング工業
奈良高専の機械工学科
に入学したのは、将来は

2輪車に携わる仕事がし
たいという思いからでし
た。高専で学ぶ

うちに「モノづ
くり（設計）」が
したい」という
気持ちも出てき
たので、両方が
叶えられる当社
に2025年4
月に入社しまし
た。現在は当社
の主力製品の一
つであるガス

三和パッキング工業

ガスケット開発課 飯沼 怜王 さん



サンコー 技研
当社は精密打ち抜き加
工を得意とする東大阪の
リント基板や光学シー

ト、ICカード、
二次電池など多
岐にわたる、打
ち抜きに関する
あらゆる加工法
を提案できま

す。従業員40人
の中小企業なが
ら取引先は大手
企業ばかりで、
近年はアメリカ
を中心とした海
外企業との取り引きも増
えています。また独自の
アプリ開発事業にも乗り
出しており、工場のDX
化を加速させる「スマ
ファクトリー」をリリースし
ています。急成長を遂げ
ており、現在進行してい
るプロジェクトは、いず
れも大型案件だけにトッ
プが走り回るだけでは限
界が見え始めておりアメ
リカとドイツには、年齢
や経験を問わず、技術力
や語学力をさらに磨きた
いという意欲のある技術
系スタッフを配置し、成
長してもらいたいと思っ
ています。技術で世界と
勝負するチャレンジでき
る人を求めます。私の好
きな言葉は「世界を変え
る技術もたった1人の情
熱から始まる」です。

サンコー 技研

代表取締役社長 田中 敬 さん



佐藤薬品工業
私は2014年に奈良
高専を卒業し、佐藤薬品

工業に入社しました。入
社から10年以上にわたり
品質管理部に所
属し、現在はシ
ステム管理業務
に携わっていま

す。試験記録は
全てシステム上
で管理されてお
り、その運用を
担当していま
す。私が所属す
る部署は女性の
割合が半数以上
で、働きやすい職場です。
また、社内に託児所があ
り3歳児までは預けられ
るので、安心して仕事と
育児を両立できます。実
際職場では、子育て世代
の社員が多く活躍してい
ます。
奈良高専は、学生の自
主性を尊重する校風で、
自ら考え学ぶことを重視
している点が特徴です。
高専で身につけた知識や
技術は社会で活躍する土
台になります。そして自
らの課題や目標を持って主
体的に学ぶ姿勢は社会に
出ても強みになるはず
です。高専生には、今
しかできない経験や、仲
間との時間を大切に
して、自分の興味や目標に
向って積極的に取り組ん
でほしいです。高専で学
んだことは必ず将来、皆
さんの力になるはず
です。

佐藤薬品工業

品質管理部 主任技師補 松内 画楽 さん



FAMILIAR
with
PEOPLE

さとやくの、やくそく。

わたしたち佐藤薬品工業は

お客さまによりそい、
お客さまの健康をささえる。

人々に親しまれる
ヘルスケアカンパニーへ。



公式HP



@ さとやく



オンライン
ショップ



さとやく

佐藤薬品工業株式会社

仕事なのに 夢中になれる

自分の考えたものが、
目の前で動く。

メカ、制御、センサー、プログラム、
いろいろな技術を組み合わせて装置をつくる。
うまくいかない。だから考える。
動いた。だから、もっとやりたくなる。

現物認識
多機能加工システム



特許申請中



KUSAKABE 日下部機械株式会社

本社 〒561-0872 大阪府豊中市寺内1-2-2 TEL.06-6866-1131代 / FAX.06-6866-0087
<https://kusakabe-kikai.jp/>

進歩を求めて励み
105th
Anniversary



その技術が、 世界を走らせる。

The Technology That Keeps the World Moving.

三和パッキング工業株式会社



CELL-COAT INSULATION PLUS

雨だけじゃない、
“熱”からも建物を守る

セルコート断熱プラス

CELL-COAT INSULATION PLUS

アクリルシリコン系樹脂と特殊アスファルトエマルジョンに
エアロゲルと中空バルーンを配合することで、
高い防水性と断熱性を両立させた
水性塗膜防水材です。

一液型
断熱防水
塗料

関西パテ化工株式会社
https://www.kansaipate.co.jp/

本社 〒579-8003 大阪府東大阪市日下町3丁目7番36号
TEL.072-982-2131 FAX.072-982-2135

企業・先輩から期待の声

ダイダ

私は1983年に奈良工業高等学校機械工学科を卒業しました。25年以上にわたり建築現場で技術者として経験を積んでいます。ダイダは、高専卒の社長は当社では初めてです。ダイダは空調・衛生・電気設備工事を中心に、ビルや病院、近年では半導体工場、データセンターなどの設備工事を手掛けています。高専時代は数学や物理学などに加え、3年生までは毎週水曜日に旋盤や鋳造などさまざまな実習があり、覚えることが多くて本当に大変でした。5年生で所属したゼミでは、レーザーを用いた振動計測の研究にも取り組みました。4人のゼミ仲間と役割を分担し、私はいつも発表者を務めました。入社後の研修で、高専で身に付けた基礎が生きて、空気や水の流量計算などがスムーズに理解できたことを覚えていてます。

目前のことに真摯に取り組む、最後までやり抜く力は、今も私の土台になっています。高専での学びは、社会に出てからも必ず役に立ちます。一つひとつの課題にまじめに取り組むことが、自身の成長だけでなく、会社や社会への貢献にもつながると思います。

代表取締役社長 山中 康宏 さん

タカトリ

私は1992年に奈良工業高等学校機械工学科を卒業しました。卒業後、建築設備の設計・施工会社を経て、20代で現在の会社に転職して以来、新素材機器分野の仕事に携わっています。高専で学んだ知識が、そのまますべてに使われるとは限りません。しかし、基礎知識をもとに論理的に考え、課題を解決する力は、今の仕事を支える大きな土台です。

お客様の求めることを理解し、同じ目線で技術を議論するには、幅広い知見が欠かせません。常に一歩先の提案ができるだけの専門性を高めていくことも必要です。

在學生には、固定観念にとらわれず、自由な発想で行動してほしいと思います。「本当にこれが最善なのか」と常に問い続ける技術者として活躍してほしいです。

新素材機器カンパニーカンパニー長 植松 豊 さん

ヒラノテクシード

私は2000年に奈良工業高等学校機械工学科を卒業し、同年ヒラノテクシードに入社しました。今年で勤続26年になりました。最初は、最初の20年は設計、その後は開発課に転じました。当社は塗工機械や工機械の有力メーカーで、東証スタンダード市場に上場しています。奈良県内の上場企業とあって、歴史的に奈良高専の出身者は多く、大先輩の2期生の方が在籍していたほか、現在は18人の卒業生が活躍しています。開発部は若手社員が多く女性も3人、外国籍の方も3人います。最先端の仕事だけに産学連携は重要で、国内では金沢大学、海外でも米国・ミネソタ大学と緊密な関係を築いています。とくにミネソタ

タ大学はコーティングの分野で世界最高峰の大学で、当社開発部から毎年1年間、社員を派遣しています。

高専生には、培った専門知識と実践力を武器に、自分の強みを生かせる仕事を見極め、自分らで未来のモノづくりを支える技術者として活躍してほしいです。

開発部 開発課 課長 中村 行良 さん

理研計器奈良製作所

私の経歴は少々複雑でした。そして8年勤め、奈良県桜井市の理研計器校を卒業後、工業炉のメーカーに就職しましたが、乗の物好きが高じてバスドライバーに転職しています。この仕事はチームワークが大事で、職場内の横の繋がりが求められます。何

度か転職しましたが、今の会社は一番自分に合っていると思っています。理研計器奈良製作所では、社外セミナーの受講を推奨するなど、働きながら「主体的に学ぶ」環境が整っています。高専の後輩達に助言したいのは、何でもやってみること、チャレンジすることです。若いうちはやり直しが利くので、失敗を恐れずいろんな分野に挑戦してほしいと思います。

営業技術部 技術課 係長 木村 猛 さん

The sky's the limit!

サンコー技研は、厚さ1mm以下の精密打ち抜き加工に強みを持つ技術系中小企業(従業員約40名)です。交通系ICカードやEV・半導体・医療分野での豊富な加工実績に加え、自社開発の作業日報アプリ「スマファク!」で中小企業の生産性向上も支援。さらには品質管理室も強化しています。アメリカやヨーロッパで、技術で挑戦・活躍したい方は是非!

株式会社 サンコー技研

本社：〒578-0932 大阪府東大阪市玉串町東3-5-38
TEL. 072-964-3204 FAX. 072-964-2748
第2工場：本社工場隣(完全クリーンルームプレス工場)



町工場がつくった町工場のための見える化アプリ

スマファク!

撮るだけ日報
完全
トレサビリティ
対応

工場見える化
分析・
効率UP!

